

レプトスピラ症の研修会を行います

【 レプトスピラ症とは?? 】

例年夏から秋にかけて多く見られ、ネズミなどの保菌動物の尿で汚染された水や土壌に触れた後に感染する可能性のある感染症です。



原因のレプトスピラ菌

感染すると、高熱や激しい頭痛などが現れ、治療せずに放置すると重症化する恐れがあります。
2018年度に八重山管内では、13名の方がレプトスピラ症と診断されました。

レプトスピラ症に関する研修会

○日時：令和元年7月2日（火） 19：00～20：00

○場所：西表離島振興総合センター 1Fホール

○対象者：ガイドやレジャー活動、農作業等に従事する方
その他希望される方

○内容：レプトスピラ症とは？、予防方法 など（八重山保健所）
レプトスピラ症の事例紹介、予防内服 （大原診療所）

○申込先：TEL 0980-82-4891（八重山保健所）
お問い合わせや受講希望の方はご連絡ください(事前申し込み)。

【参考】八重山管内におけるレプトスピラ症の発生状況の推移（2014年～2018年）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
患者数(全体)	19名	8名	15名	19名	13名
全体のうち、レジャー関係 のお仕事の方	11名	5名	12名	7名	5名
全体のうち、農業等、土壌 と接触のあった方	1名	1名	1名	6名	2名